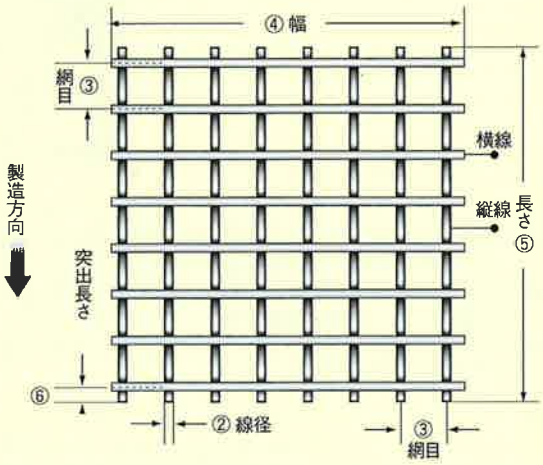
溶接金網

縦線と横線を直角に配列させ、交わった点を電気抵抗溶接した金網。
主としてコンクリート補強用として使用されますが、近年フェンス、ディスプレイ用等幅広い用途に使用されております。

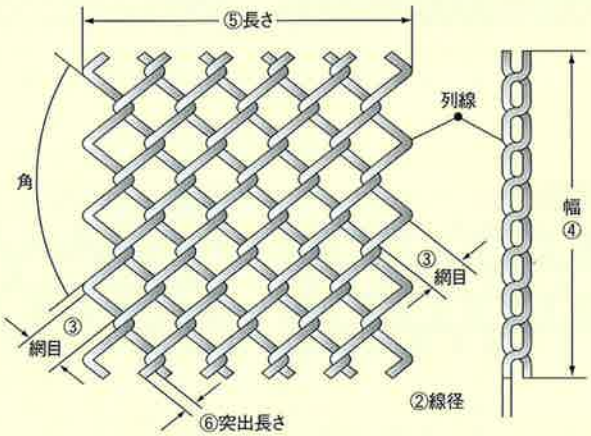
【ご用命事項】
①材質
②線径
③網目の寸法（線径の中心から中心まで）
④幅（突出部を含めた距離）
⑤長さ（突出部を含めた距離）
⑥突出部の寸法
標準網目寸法（㎜）50,70,100,150



菱形金網

ジグによって一定のピッチで山形に曲げられた素線を連続的に互いにからませて網目を菱形に編んだかな網。
主としてフェンス用に使用されます。

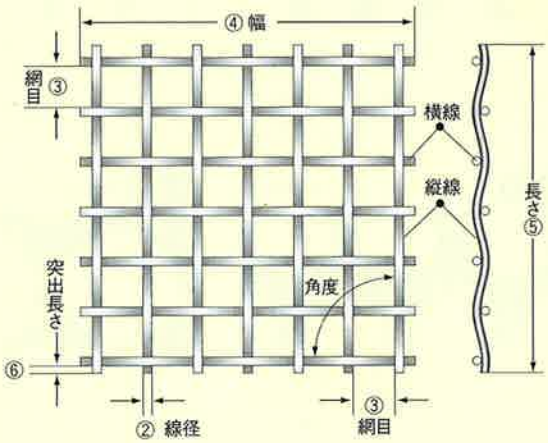
【ご用命事項】
①材質
②線径
③網目の寸法（網目空間の一辺の距離）
④幅（突出部を含めた距離）
⑤長さ（突出部を含めた距離）
⑥突出部の寸法
線径と網目寸法の組み合わせ



クリンプ金網

素線をジグで均一な波形に加工した後、縦線を定められた目合に配列し、交互に上下する縦線の間に横線を直角に供給し所定の目合に編んだ金網。主として土木建築の分野で使用されております。

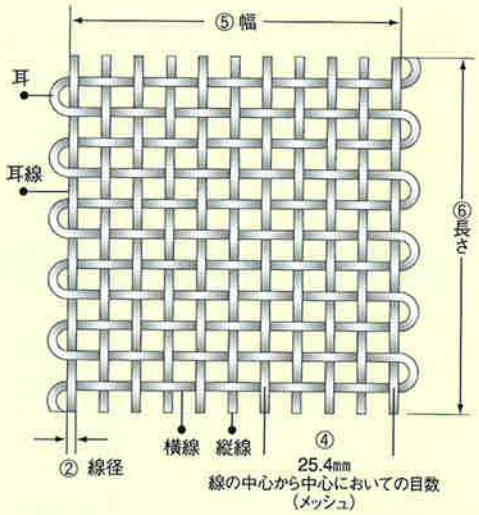
【ご用命事項】
①材質
②線径
③網目の寸法（網目空間の一辺の距離）
④幅（突出部を含めた距離）
⑤長さ（突出部を含めた距離）
⑥突出部の寸法
線径と網目の組み合わせ



織金網

縦線と横線が一定の間隔を保ち、相互に交わらせて編んだ金網で基本織として次の種類があります。用途はふるい分け及びろ過用に使用される他、インテリア、エクステリア製品等幅広く使用されております。

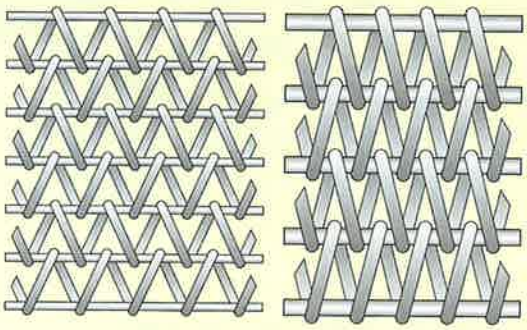
【ご用命事項】
①材質
②線径
③網目開き
④メッシュ数
（25.4㎜間の網目の数をメッシュと呼ばれる単位で表す）
⑤幅
⑥長さ
メッシュと線径の組み合わせ



平織　一本ずつ相互に交わらせて製造する。
綾織　2本以上ずつ乗り越し相互に交わらせて製造する。
畳織　平織及び綾織で横線を相接して並べて製造する。

コンベアー用金網

ジグによって一定のピッチで山形に曲げられた螺線を連続的に互いにからませて、または螺線とクリンプ線・真直線等を組み合わせて編んだ金網、使用条件に応じて素線及び組み合わせを変えることにより優れた特性を持ったコンベアー用金網が製造可能です。



平織一覧

線番（#）	線径（φ）	メッシュ（M/S）	開き目
14	1.9	2	10.8
16	1.5	2	11.1
		2.5	8.6
		3	6.9
		4	4.8
		5	3.5
18	1.1	2.5	9.1
		3	7.4
		3.2	6.8
		3.5	6.2
		4	5.3
		5	4.0
		6	3.1
		8	2.1
		10	1.4
20	0.8	4	5.6
		5	4.3
		6	3.4
		6.5	3.1

線番（#）	線径（φ）	メッシュ（M/S）	開き目
		8	2.4
		10	1.7
		12	1.3
21	0.75	5	4.3
		8	2.4
		10	1.8
		12	1.4
22	0.66	6.5	3.3
23	0.57	8	2.6
		10	2.0
		12	1.6
		14	1.2
		16	1.0
		18	0.8
25	0.47	8	2.7
		10	2.1
		12	1.7
		14	1.3
	0.47	20	0.8

線番（#）	線径（φ）	メッシュ（M/S）	開き目
26	0.43	12	1.7
		14	1.4
		16	1.2
		18	1.0
		20	0.8
27	0.37	12	1.8
		14	1.4
		16	1.2
		18	1.0
		20	1.0
28	0.34	14	1.5
		16	1.3
		18	1.1
		20	0.9
		24	0.7
		30	0.5
30	0.29	16	1.3
		20	1.0
		24	0.8

線番（#）	線径（φ）	メッシュ（M/S）	開き目
		30	0.6
		40	0.4
34	0.22	40	0.4
36	0.18	40	0.5
		50	0.3
		60	0.2
38	0.14	50	0.4
		60	0.3
40	0.12	80	0.2
42	0.10	100	0.2
43	0.08	120	0.1
46	0.05	150	0.1
47	0.05	200	0.08
48	0.04	250	0.06
	0.04	300	0.04
49	0.03	400	0.03
50	0.025	500	0.03